

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



団旗を先頭に消防団員の勇姿



3世代表彰

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼

主な
内容

| | |
|---------|-----|
| 年頭あいさつ | 2 |
| 12月定例会 | 3 |
| 委員会報告 | 4 |
| 広域圏NEWS | 5・6 |

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。ここに輝かしい新春を皆様と共に迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます、町議会を代表し、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。昨年中はひとかたならぬご協力をいただきました。誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

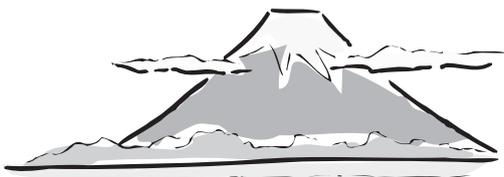
さて、昨年の国内情勢は、歴史的円高、また、タイ洪水の影響による企業業績悪化により、経済も下振れ状態が続いています。野田政権が新たに誕生し、復興や景気対策に全力を傾注していますが、新卒者の就職内定率もなお厳しい状況にあり、更なる対策を切望するところです。また、ユーロ圏の不安定化やTTP交渉の行方も心配されることです。

当町においても、景気低迷の長期化による町税減収は大きく、町経済に及ぼす影響も多大なものとなってきています。

しかし一方、「下仁田ジオパーク」が群馬県で第一号の認定を受け、更に「荒船風穴」が絹産業遺産関連に認定される幸運に恵まれ、来町者も増加傾向にあり、商店によるジオにちなんだオリジナル商品の開発や提案等がなされています。この好機を前途の光明と捉え観光や地域振興等活性化に結び付けられるよう期待するところです。

議会も心を新たにし、町民の意思を町政に反映でき、若者が生きがいを持って、お年寄りが安心して暮らせる町づくりのため、執

議長 千野 榮治



9月の改選から 2常任委員会となりました。

総務常任委員会

社会経済常任委員会



岡田 武二



堀口 博志



佐藤 博



木暮 弘元



原 秀男



島崎 紘一



岩崎 正春



高瀬 政信



矢嶋 榮一



佐藤 勇二



千野 榮治



佐藤 公夫

公職選挙法の定めるところにより、議員の年賀状の差し出しは、禁止されております。この紙面をもちまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

一般会計補正予算など可決

12月定例会

議案

第4回定例会は、12月7日から16日までの10日間の会期で開かれました。本定例会は、平成23年度一般会計補正予算を含む、議案11件（内予算関連2件、議員提案による意見書が3件）、陳情4件、請願1件が上程審議され、すべて原案どおり可決されました。

◆一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ873万4千円を減額し、予算の総額を53億9,266万円としました。

全会一致で可決

◆簡易水道事業特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ82万7千円を追加し、予算の総額を1億3,701万円としました。

全会一致で可決

◆条例の一部を改正する条例
「地方税法改正に伴う町条例の改正」

全会一致で可決

◆社会体育館等の設置及び管理等に関する条例の一部改正する条例
例 「講堂の取り壊しによる改正」

全会一致で可決

◆しもにたバス条例の制定

全会一致で可決

◆町道路線の廃止

全会一致で可決

◆町道路線の認定

全会一致で可決

◆財産取得について

「統合に向けスクールバス2台購入」金額2,819万7,220円

全会一致で可決

陳情

◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

全会一致で採択

◆0.4%の年金引下げをもとに戻すことを求める陳情

全会一致で採択

◆年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情

継続審査

◆群馬県立下仁田高校の存続についての陳情

全会一致で採択

請願

◆群馬県立下仁田高校の存続についての請願

全会一致で採択

意見書

◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書

全会一致で可決

◆0.4%の年金引下げをもとに戻すことを求める意見書

全会一致で可決

内閣総理大臣等へ議長名で意見書を提出！

◆群馬県立下仁田高校の存続を求める意見書

全会一致で可決

群馬県知事等へ議長名で意見書を提出！

臨時議会

11月4日開催
◆下仁田町60メガヘルツ固定系防災行政無線整備工事請負契約

全会一致で可決

11月28日開催
◆町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
「人事院勧告に伴う減額の改正条例です。」

全会一致で可決

群馬県立下仁田高等学校の存続を求める意見書

下仁田高校は、昭和12年3月17日 県立下仁田高等家政女学校として下仁田町外8ヶ村学校組合の設立認可が下りました。創立以来地域住民の協力のもとに地域の発展に貢献してきました。

近年は、下仁田ふれあいアカデミー活動として環境調査、環境浄化、下仁田町商業祭や産業祭への参加、また、商工会青年部のイルミネーション事業には企画から設置までの協力等々、地域との交流も盛んに行われております。

しかし、現在少子化の影響を受け、志願者が減少している状況ですが、廃校あるいは学級減になると、地域に及ぼす影響は重大で、過疎化への更なる拍車、地域産業等の衰退、また東降客減少に伴い通信線存続の危機が増大される等、影響は計り知れません。

群馬県教育委員会の計画原案は、職業系専門学科・普通科系専門学科について特色ある教育の充実を図りつつ、社会のニーズや地域の実情に応じた学科・コースの改編等を検討することとしており、「特色ある高校づくり」に向け、魅力ある学科や特徴あるコースづくりを目指すことが重要と思います。

下仁田町は森林原野も豊富、町有林を生かした森林学科、また、ジオパークを生かした地質学科等、普通科のみでなく、幅広く専門学科・コースを検討された。

小規模校の良さは、一人ひとりが向き合った指導を受けられるところであり、統廃合という短絡思考であってはならないと考えます。

群馬県の最西部の県立高校としての地域配置に配慮いただき、下仁田高校の存続を強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月16日

群馬県甘楽部下仁田町議会
議長 千野 榮 治

群馬県知事 大澤 正 明 殿
群馬県教育委員会教育長 福島 金 夫 殿

下高存続を求める意見書

12月8日、本会議において付託された陳情3件と請願1件について審査し、経過及び結果は以下のとおりでした。

◆陳情第5号 0・4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める陳情

委員から少子高齢化で、保険料を納める人が少なくなり、受給者が増えていく中で年金財政は厳しい状況であるので趣旨採択とすべきとの意見もありましたが、年金受給者の生活が成り立つような年金額が必要であるとの意見もあり、慎重審査の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

◆陳情第6号 年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情

委員から25年に満たない場合は、受給資格が得られないのは問題であるが、年金制度を考えれば現行年数でも致し方ないのではないかとの意見があり、慎重審査の結果、全会一致で継続審査すべきものと決しました。

◆陳情第7号 群馬県立下仁田高等学校の存続についての陳情

委員から存続に向けて対策委員会を立ち上げ、署名活動等の広域活動の実施の必要性、併せて普通科だけではなく専門学科又はコースを検討すべきとの意見がありました。特に、下仁田町は森林原野も豊富、町有林を生かした森林学科、また、ジオパークを生かした地質学科等幅広く検討すべきとの意見があり、慎重審査の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

◆請願第8号 群馬県立下仁田高等学校の存続についての請願

委員から陳情第7号と内容的には同一、紹介議員には責任がある、最後まで尽力していただきたいとの意見があり、慎重審査の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

社会経済常任委員会

12月9日、本会議において付託された陳情1件を審査し、経過及び結果は以下のとおりでした。

◆陳情第4号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情

委員から安全・安心の医療・介護の確立の面から必要ではないかとの意見があり、慎重審査の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

予算決算特別委員会

本会議において付託された平成23年度一般会計補正予算(第3号)及び平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)を審査

慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。主な質疑は次のとおりです。

- Q 教育費国庫補助金、学校施設環境改善交付金について
- A 下仁田小学校グラウンド整備事業の補助金で、県内では下仁田町だけが対象。小学校の補助金は今回が最後です。
- Q 行政区運営の210万円の減額は

減額は

- A 地域力アップを目指し地域主体の活動助成で、地域で活動を検討しているが、地元負担金が1/2必要のため、調整に苦慮している地区等があるということで、新年度に向け検討するための減額です。
- Q 学校管理費175万円は
- A 小学校の教材の移動費です。史料については検討していませんが、将来的には、小坂小学校舎を教育資料館的に、歴史的資料の保存、展示ができればと考えています。

- Q ジオパーク運営について
- A 需用費は、町用車の車検費用、負担金はジオパーク認定審査に係る申請負担金です。
- Q 地域子育て創生事業補助金の内容は
- A 全額補助による子ども手当システム改修費補助99万7千円です。
- Q 県支出金の児童虐待防止対策緊急強化事業費補助金は、ハードでもソフトでも使えるのか

A 増加傾向にある児童虐待に

- 対して早期発見、安全確認と見守り態勢の強化を図る目的で訪問車両と保護者や関係者への周知啓発パンフレットの購入を予定です。
- Q 農林水産業費県補助金の減額内容は
- A 県の巨樹巨木保全費補助金の減額や森林整備地域活動支援交付金が、制度変更により事業遂行が不可能になったためです。
- Q 緑化対策事業費を減額した
- A 緑化対策事業費を減額した
- A 県の補助金が減額だが、樹木医の指導助言が必要な業務は盛り込んだため目的は達成できると判断しています。
- Q 一般町道改良事業の万年橋の内容は
- A 橋梁点検の結果、車両は通行止め、歩行者の通行は可とし転落防止施設を設置したい。なお、橋の補修を予算要望し「橋梁長寿命化計画」に伴い車両通行も検討していきたい。

広域圏NEWS

広域議会

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合臨時議会が12月20日開催された。

議案4件が上程され、全て原案どおり認定・可決及び同意された。

議案

◆平成22年度歳入歳出決算

歳入済額15億1,518万3,462円、歳出済額14億9,315万2,904円
執行率98・5%

全会一致で認定

◆母子生活支援施設条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

平成23年度補正予算(第2号)歳入歳出をそれぞれ197万円増額し予算の総額を17億334万5千円としました。

全会一致で可決

◆監査委員の選任

富岡市富岡1627番地3
北原正昭氏を全会一致で選任

環境議会

甘楽西部環境衛生施設組合議会(環境衛生)が12月19日に開催された。

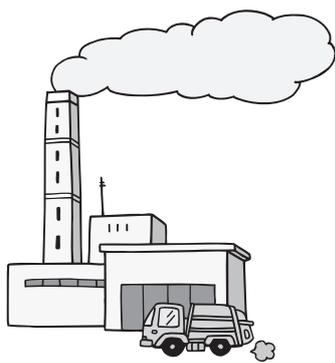
◆補正予算

国庫補助金1億9,467万8千円を減額し5億8,704万3千円としました。

全会一致で可決

内容は、ごみ処理施設改良事業費が7割の見込みが3割となった為の減額で、減額分は24年度に回り、全体事業費の変更はないとのことです。

議会終了後、環境議員の変更があったので火葬場の改修工事の状況、最終処分場及びし尿処理場等の施設を視察した。



病院議会

下仁田南牧医療事務組合議会(病院議会)

第1回臨時会

10月14日開催

◆議長の選挙について

千野榮治議長が指名推薦で当選

◆副議長の選挙について

南牧村議会議長石井輝雄氏が指名推薦で当選

名推薦で当選
◆監査委員の選任同意について
南牧議会議員石井武男氏が全会一致で選任されました。

第2回臨時会

11月25日開催

◆下仁田南牧医療事務組合職員給与に関する条例の一部を改正する条例について
「人事院勧告に伴う減額の改正条例です。」

全会一致で可決



建設が進む新病棟

地方議会視察研修が

開催される

11月1日・2日と、富岡市、下仁田町、甘楽町、南牧村の4議会で、和紙で有名な岐阜県美濃市を視察しました。

美濃市は、明治末期まで、「上有知」と呼ばれていました。慶長5年（1600年）関ヶ原合戦の功績により徳川家康からこの地を拝領した金森長近は、長良川河畔に小倉城を築城、現在も残る町割りの完成は慶長11年（1606年）頃とみられます。長近は経済の発展をめざし、長良川に「上有知湊」を開きま

した。長近の死後、元和元年（1615年）に尾張藩領となつた後も、この画期的な川湊は船運による物資集散の拠点として機能し、和紙を中心とした経済活動が進み、商業都市として繁栄しました。明治44年（1911年）、上有知町は美濃紙にちなんで「美濃町」と改名、現在に至っています。

昔から町は丘の上に位置するため、水害や地震に強い反面、水利に乏しく一度火災

が発生すると大惨事になりました。その最大の防火対策として、屋根の両端に防火壁（うだつ）を上げました。その後、和紙で栄えた豪商たちが富の象徴として（うだつ）で粋を競い合い、これが芸術的に発展したということです。



美濃市うだつの上がる町並み視察

群馬県町村議会議員

研修会開催される

10月26日吉岡町文化センターにおいて、議員12名・事務局が出席。小川和久氏（軍事アナリスト）の「東日本大震災・原子力事故は終わっていない」という演題で、また、高田 恒氏（全国議長会議会事務総長）の「町村を取り巻く諸課題について」という演題で講演を受けてきました。

阪神淡路大震災の教訓が生かされていない、危機管理体制が脆弱。「明日への希望を失わせない事と国にしか出来ない事は国がやる。」という単純な姿勢が重要。また、自治法改正に伴う地域主権の拡充と議会制度改正等今後の方向性について研修してきました。



群馬県町村議会議員研修会



演奏会の様子

本会議に先立ち、福祉作業所の皆さんによる、楽器演奏会が行われました。

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.gunma.jp/>

問い合わせ先：電話82-2111（内線610番）

編集室から

昨年、東日本で発生の未曾有の震災により、多くの生命や財産が奪われたことに対して、謹んで哀悼の意を表しますとともに、今もなお不慣れた生活を強いられている方々のことを思うと一日も早い復旧・復興を心から願います。

さて、新たな年を迎え、私たち議員は心新たに、安心・安全な町政をめざす所存であります。また、小学校が4月から一校に統合するにあたり、子供たちが不安にならないよう気配りをして参ります。

今回は12月定例会の主なことについて編集しました。皆様方からのご意見をお待ちしております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

矢嶋榮一

広報発行特別委員会

- 委員長 矢嶋榮一
- 副委員長 木暮弘元
- 委員 原 秀男
- 委員 高瀬政信
- 委員 佐藤 博
- 委員 岡田武二